



ワークショップ

奴隷制、啓蒙、（ポスト）コロニアリズム

ルイ・サラ＝モランス『黒人法典』を（再び）読む

中尾沙季子（中央大学）：「奴隷制以後の〈フランス〉における歴史叙述と人種主義思想（仮）」

貝原伴寛（日本学術振興会PD）：「皮肉屋の飾言：『黒人法典』から考える啓蒙と革命（仮）」

コメント：平野千果子（武蔵大学）／森元庸介（東京大学）

司会：中村隆之（早稲田大学）

2025年1月25日（土）14時／早稲田大学法学部8号館313教室（入場無料・予約不要）

主催：早稲田大学法学部／科学研究費基盤研究（B）「「一般リズム学」を地平とする統合的思想史の構築」